

東アジア世界史研究センター 平成20年度 公開講座

留学生が通った道と もたらしたもの



洛陽 龍門石窟

文部科学省私立大学学術研究高度化推進事業（オープン・リサーチ・センター整備事業）

「古代東アジア世界史と留学生」

日時：平成20年7月26日（土）13:00～18:00

会場：専修大学生田校舎10号館1階10103教室

東アジア世界史研究センターの研究計画〈概要〉

【研究目的】

これまでの東アジア世界を対象とした歴史研究プロジェクトは、壮大なテーマを掲げて取り組んできましたが、本プロジェクトは、追求すべきテーマを絞り込み、古代東アジア世界を流動した人々との対比を視野に入れた上で、東アジアの国々が、様々な文化・文物の流入を期待し、それを直接に担った「留学生」に焦点を絞り、テーマを設定しました。

先進文明国に位置する中国への留学生は、文化・文物を「移植」・「媒介」した存在ではありますが、その果たした歴史的な意義は、十分に明らかにされていません。

本プロジェクトは、本学大学院が発見に大きな役割を果たした「遣唐使井真成墓誌」で培われた中国西北大学大学院との共同研究（その成果の一部は『遣唐使の見た中国と日本』朝日新聞社、2005年、として刊行）を基礎として、1. 隋・唐代の中国を訪れた東アジアからの留学生の全貌を明らかにした上で、2. 古代東アジアの国々への影響を解明するものであります。これは、文物の「媒介者」の歴史的意義を問う試みであり、グローバル化した現代において見失われがちな「媒介者」の正当な位置づけとその果たしている重要性を確認させる点において、現代的な意義を有する研究といえます。また、研究計画を遂行する中で、日本人に限定しないで、東アジア世界の若手研究者の育成を目的の一つにしていることも、本プロジェクトの特徴となっています。

【研究テーマ】

- ① 遣唐使井真成墓誌関係史資料の研究
- ② 日本・中国・朝鮮の「留学生」史・資料についての研究
- ③ 政治・制度・文化・思想の接触と受容からみた東アジア世界の研究
- ④ 物の移動からみた東アジア世界の研究

・研究プロジェクトの参加研究者

	研究課題	参加調査・研究チーム
専修大学教授		
荒木 敏夫	東アジアにおける政治史	①・③*
矢野 建一	東アジアにおける留学生の位置	①*・③
亀井 明德	東アジア世界と中国・日本	③・④
土生田純之	東アジア世界と朝鮮・日本	③・④*
飯尾 秀幸	律令制度と東アジア世界史	②*・③
内藤 雅雄	東アジア世界と南アジア世界の交流	③・④
田中 正敬	東アジア世界のなかの朝鮮半島	③・④
松原 朗	東アジア世界における文化的人的交流	②・③
土屋 昌明	東アジア世界における文化的人的交流	②・③
巖 基珠	東アジア世界における文化的人的交流	②・③
*は各研究テーマのチームリーダー		
西北大学（中国）教授		
王 建新	東アジア世界と中国	③・④
王 維坤	東アジア世界と中国	③・④
リサーチ・アシスタント		
小笠原 強	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（中国近現代史）	
窪田 藍	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（日本古代史）	
福島 大我	専修大学大学院文学研究科博士後期課程（中国古代史）	

平成20年度公開講座 テーマ

留学生が通った道ともたらしたものの

プログラム

趣旨説明

13:00~13:20

荒木 敏夫

(東アジア世界史研究センター代表/専修大学教授)

講演

13:20~14:20

渡辺 信一郎 (京都府立大学教授)

「雅楽の来た道」

14:20~15:20

中村 太一 (北海道教育大学釧路校准教授)

「遣唐使の道—大運河を中心に—」

15:20~15:40

休憩

15:40~16:40

栄原 永遠男 (大阪市立大学大学院教授)

「宝亀の唐使と遣唐使」

討論

16:40~18:00

パネリスト: 渡辺 信一郎

中村 太一

栄原 永遠男

司会・進行

飯尾 秀幸 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

矢野 建一 (東アジア世界史研究センター研究員/専修大学教授)

■ 講師紹介

■ 荒木 敏夫（あらかき としお） 専修大学文学部教授

東京都立大学大学院人文科学研究科史学専攻（博士課程）退学

【著書・論文】『可能性としての女帝—女帝と王権—』（青木書店、1999年） 『日本古代王権の研究』（吉川弘文館、2006年） 『日本の女性天皇』（小学館、2006年）

■ 渡辺 信一郎（わたなべ しんいちろう） 京都府立大学文学部教授

京都大学大学院文学研究科博士課程単位修得退学（京都大学文学修士）

【著書・論文】『中国古代社会論』（青木書店、1986年） 『中国古代国家の思想構造』（校倉書房、1994年） 『天空の玉座—中国古代帝国の朝政と儀礼』（柏書房、1996年） 『中国古代の王権と天下秩序』（校倉書房、2003年）

■ 中村 太一（なかむら たいち） 北海道教育大学釧路校教育学部准教授

國學院大学大学院文学研究科日本史学専攻博士課程後期修了・博士（歴史学）

【著書・論文】『日本古代国家と計画道路』（吉川弘文館、1996年） 『日本の古代道路を探す—律令国家のアウトバーン』（平凡社、2000年） 「藤原京の「条坊制」」『日本歴史』（612号、1999年） 「古代日本における墨書押印貢進物」『栃木史学』（14号、2000年） 「日本古代の交易者—目的とその類型—」『国立歴史民俗博物館研究報告』（第113集、2004年） 「日本古代国家形成期の都鄙間交通—駅伝制の成立を中心に—」『歴史学研究』（820号、2006年） 「日本古代の都鄙間交易—交易圏モデルの再検討から—」『国史学』（191号、2007年）

■ 栄原 永遠男（さかえはら とわお） 大阪市立大学大学院文学研究科教授

京都大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学

【著書・論文】『天平の時代』（集英社、1991年） 『奈良時代流通経済史の研究』（塙書房、1992年） 『日本古代銭貨流通史の研究』（塙書房、1993年） 『奈良時代の写経と内裏』（塙書房、2000年） 『奈良時代写経史研究』（塙書房、2003年） 『紀伊古代史研究』（思文閣出版、2004年）

■ 飯尾 秀幸（いとお ひでゆき） 専修大学文学部教授

東京大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

【著書・論文】『中国古代社会史論』（共訳、名著刊行会、1997年） 『中国史のなかの家族』（山川出版社、2008年） 「中国古代の法と社会」『岩波講座、世界歴史』（第5巻、岩波書店、1998年） 「中国古代における個と共同性の展開」『歴史学研究』（729号、1999年） 「中国国家史研究は進んだか」『歴史学研究』（782号、2003年） 「中国古代における人の移動とその規制に関する基礎的研究」『専修大学人文科学年報』（37号、2007年）

■ 矢野 建一（やの けんいち） 専修大学文学部教授

立教大学大学院文学研究科博士課程修了

【著書・論文】『遣唐使の見た中国と日本』（共著、朝日新聞社、2005年） 『長安都市文化と朝鮮・日本』（共編著、汲古書院、2007年） 『長安都市文化と朝鮮・日本』（共編著、三秦出版社、2008年） 「井真成研究—その後の研究動向によせて—」『人文科学年報』（37号、2007年） 「中国における入唐留学生研究の動向」『人文科学年報』（38号、2008年） 「遣唐使の派遣と春日山祭祀」『東アジア世界史研究センター年報』（1号、2008年）

東アジア世界史研究センター

〒214-8580 神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

TEL/044-911-1283

FAX/044-911-1348

E-mail: east-asia@isc.senshu-u.ac.jp

主催：専修大学社会知性開発研究センター／東アジア世界史研究センター